

今月のことば

悪い行いは
否定しても
存在は
否定しない

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師

こいけ ひであき
小池秀章

仏さまは、善いことをしている人も、悪いことをしている人も、平等に慈しんでくださいます。また、私が、善いことをしている時も、悪いことをしている時も、見捨てることなく、いつも見守ってくださいます。

では、仏さまは、悪いことをしても、それでいいと言われるのでしょうか。そんなことが、あるはずはありません。当然、悪いことをやめるよう願っておられます。しかし、悪いことをやめようと思っても、悪いことをしてしまうこともあるのが、私たちなのです。

ですから、仏さまは、悪い行いは悪いと否定されますが、悪い行いをした人を、「お前はどこかへ行け。生きていても仕方がない」と、その存在を否定したりはされません。

それに対して、私たちは、悪いことをした人を、その存在ごと否定してしまっているのではないのでしょうか。

子どもは、誰かが気に入らないことをすると、すぐに、「死ね」という言葉を使います。子どもは軽い気持ちで、その言葉を使っているのかもしれませんが、その言葉を聞くと、とても悲しくなります。「死ね」という言葉は、存在を否定する言葉だからです。

「悪い行いは否定しても、存在は否定しない」
この言葉を忘れずに、生きていきたいものです。

合掌